



河南

環境美化活動を学んだ 河南ブロックの交流会

河南ブロック交流会は、11月19日、河南町ボラ連の担当で開催されました。『VサインNo.11』(ボランティアOS AKA／2000年秋号)にも登場した「ささゆりグループ」の活動紹介がメインです。

河南町は富田林の東に位置し、町域の3分の1が国定公園だそうで、古墳・史跡も多く、環境保全には力が入っているようです。

河南町の花は「ゆり（ささゆり）」。環境ボランティアささゆりグループの

武庫川女子大学・巡静一教授の記念

講演に続いて、「自分たちのまちは、自分たちでつくり、守り育てる」をコ

去る12月2日(日)、高槻市コミュニティ推進室と市ボランティアセンターの共催で、会場をサロン風に設定し、作業所が作ったクッキーやコーヒーを楽しみながら、集い・学び・ふれあい・交流の「まちづくりサロン」を開催しました。

第一部は、ボランティア劇「明日があるさ！」ボランティア」と題して、ボランティアが自らシナリオ・演出・大道具・小道具などを制作。ボランティアが日常の生活にどのように関わった。皆さん、劇はまったくの初心者でしたが、準備段階から試行錯誤をくり返し、当日はみんなで一致団結。また出演者の熱演で、会場を笑いと感動の

表記の事業を摂津市立安威川公民館にて開催。

第二部は、ボランティア劇「明日があるさ！」ボランティア」と題して、ボランティアが自らシナリオ・演出・大道具・小道具などを制作。ボランティアが日常の生活にどのように関わった。皆さん、劇はまったくの初心者でしたが、準備段階から試行錯誤をくり返し、当日はみんなで一致団結。また出演者の熱演で、会場を笑いと感動の

泉州

ボランティア国際年記念事業 泉州

メンバーは50代の人が多いとのことで、20代の人もいて総勢55名。週1回のゴミ集め、月1回の幹線道路の清掃で地域の美化と環境保全の啓発を行っている他、少なくなったささゆりの自生地を守るために、後継者不足に悩む林業家に協力して、下草刈りなど山の手入れを手伝っています。竹林の荒廃も進んでおり、谷川の大型廃棄物にも悩んでいるとのことでした。

お話の後、国道309号の水越峠に近い青崩（あおげ）地区に場所を替えて、大きな焚き火を開んでおにぎりと豚汁をご馳走になり、竹炭やケナフの

メンバーや、20代の人もいて総勢55名。週1回のゴミ集め、月1回の幹線道路の清掃で地域の美化と環境保全の啓発を行っている他、少なくなったささゆりの自生地を守るために、後継者不足に悩む林業家に協力して、下草刈りなど山の手入れを手伝っています。竹林の荒廃も進んでおり、谷川の大型廃棄物にも悩んでいるとのことでした。

会場には16のNPO団体の活動紹介もあって、約200人の参加者は地域での活動を始めるための新しいヒントをつかんだようでした。

会場で、高槻ジャズストリート実行委員会・配食のいきいき会・市ボランティアセンターの3者が事例発表を行い、市民活動をすすめ活性化するためには、行政の支援や他の活動団体との情報交換、連携の重要性を訴えました。

2001年ボランティア国際年

摂津市ボランティア連絡協議会結成10周年記念事業

「ボランティア一人ひとりが主役です」を開催

渦に巻き込みました。

第二部は講師に笑福亭竹林氏を迎えた、「子育ては楽しく」をテーマに講演していただきました。

アセンターは、今年で結成10周年を迎えたボランティア連絡協議会との共催で、

表記の事業を摂津市立安威川公民館にて開催。



パリアフリー部会

炭づくりの現場を見せてもらいました。

ケナフ入りのクッキイも美味しかったと評判でした。竹炭や

飛鳥博物館の見学ののち解散しました。

福祉分野では外回りの仕事が少ない

ので、自然と人との交流はうらやましい限りですが、「活動は無理をせず、

朗読」「水の流れが雨となり、川に流れ

オ3本を、筆記通訳グループ「たんぽぽ」が1本に編集し、さらに字幕を挿入して上映されました。

休憩をはさんだ後半は、朗読グループ

「ゆりかご」が環境に関する絵本を使つた訪問交流事業の様子…これらのビデオ3本を、筆記通訳グループ「たんぽぽ」が1本に編集し、さらに字幕を挿入して上映されました。

休憩をはさんだ後半は、朗読グループ

「ゆりかご」が環境に関する絵本を使つた訪問交流事業の様子…これらのビデオオ3本を、筆記通訳グループ「たんぽぽ」が1本に編集し、さらに字幕を挿入して上映されました。

休憩をはさんだ後半は、朗読グループ

「ゆりかご」が環境に関する絵本を使つた訪問交流事業の様子…これらのビデオオ3本を、筆記通訳グループ「たんぽopo」が1本に編集し、さらに字幕を挿入して上映されました。

休憩をはさんだ後半は、朗読グループ

「ゆりかご」が環境に関する絵本を使つた訪問交流事業の様子…これらのビデオオ3本を、筆記通訳グループ「たんぽopo」が1本に編集し、さらに字幕を挿入して上映されました。

休憩をはさんだ後半は、朗読グループ

「ゆりかご」が環境に関する絵本を使つた訪問交流事業の様子…これらのビデオオ3本を、筆

1. 河南ブロック美原町交流会
3月6日、美原町ボランティア連絡会のお世話を交流会を開催しました。今回は同町ボランティアセンターで開催される“ボランティアまつり”に合流



など文化の継承を伝えていくことなどを目的として活動をしています。去る3月24日には青年会議所(JC)主催の行事において、「高齢者と子どもたちのふれあいコーナー」を担当し、牛乳パックを使った紙トンボを子どもたちと一緒につくりました。

身近にある材料を使った遊びの楽しさ(工作おもちゃの楽しさ)を子どもたちに伝えることができ、子どもだけでなくその親たちにも大変好評でした。

多彩な行事が行われて 河南ブロックは大忙し

河南ブロックもこの時期は行事が相次いで、広報担当者は原稿の取りまとめに四苦八苦の状態です。ここでは行事の概要をご紹介するにとどめますので、詳細はそれぞれの会報などを見てください。それについても、さまざまな行事のつど、他の市町村ボラ連から多数が参加されているのは、連絡会活動の立派な成果ではないかと感じました。

河南



2. 東大阪市「あいあいサロン」など



美味しい昼食もいただいて大満足の様子でした。

かかる欄で紹介した“あいあいサロン”も回を重ね、5月18日には、人工衛星の打ち上げ計画で意氣盛んな中小企業の社長さんのお話や中途失明者の腹話術の実演などがあつて、参加者も80名ほど。ついで26日には、ボランティア連絡会の年次総会が開催されています。

羽曳野市社協とボランティア連絡会の主催で、5月25日、L.I.C.はびきのホールで開催されました。東モール

から帰られたばかりという桑山紀彦さんが、スクリーンの映像をトーケと歌で紹介されるのですが、世界の紛争・貧困地域の様子には心が痛むものの、



3. 羽曳野市「地球のステージ」公演



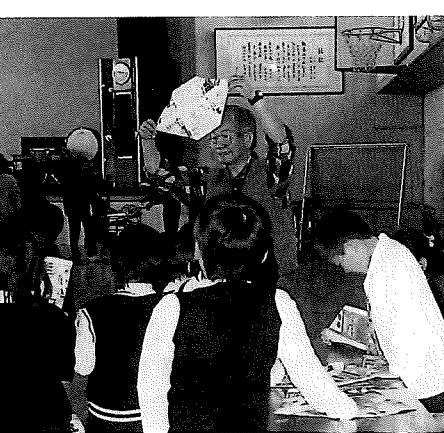
する形でしたが、設定がよかつたので、各ボランティアグループの活動をしつかりと体験学習させてもらいました。各教室(?)で40分間4回も繰り返しご指導された皆さん、さぞ大変だったことでしょう。参加者は心のこもった

4. 八尾市ボランティア連絡会 結成20周年の集い

6月1日、ブリズムホールの400席はほぼいっぱいでした。連絡会会長の挨拶と来賓の祝辞のあと、大阪ボラ協の早瀬昇さんの記念講演があり、軽快な口調で連絡会活動の

子どもたちの明るい表情に、桑山さんのボランティア活動の原点を見る思ひがしました。600人収容の同ホールは熱気にあふれ、終演後の協賛グッズの売り場も人であふれていました。

担う子どもたちに伝えていくことを目的とし、小・中学校が取り組む総合的学習の時間などに対しても協力しているボランティアグループです。メンバーは、戦中・戦後の暮らしの様子や体験を通じて、平和の大切さを子どもたちに理解してもらうことや、昔の遊び



子どもも高齢者も“わくわく”しながら 「出会い」を大切にしたグループ活動の紹介

河北

昨年、寝屋川市社

協では概ね60歳以上

を対象としたボラン

ティア講座「まだま

だ熟年」役立つ塾“

を開催し、その受講

生のうち17名が「わくわく未来塾」というボランティアグループを結成し、

社協ボランティア

センター登録グ

ループとして

活動しています。



「豊中の企業・団体の 社会貢献活動事例集」を発行

「企業・団体ボランティアネットワークとよなか」では、まちにやさしい事業所を紹介した冊子をこのほど発行しました。この不況で社会貢献など余裕がないという声が多いなかで、企業の社屋や資材を地域に提供したり、社員のボランティア活動を支援したりといった、地域に根ざした活動事例がとりあげられています。



このイベントは、ボランティア活動の啓発と活性化を目指すことを目的に、茨木市ボランティア連絡会加盟グループはじめとする市内のボランティアグループや福祉関係団体、地域住民などが交流するイベントで、年々参加者も増え、9回目となる今回は49団体の参加となりました。

当日々、曇り空ながらも時折薄日のさす中、会場となった茨木市中央公園北グラウンドでは、模擬店やバザー、

の主催により開催しました。

このイベントは、ボランティア活動の啓発と活性化を目指すことを目的に、茨木市ボランティア連絡会加盟グループをはじめとする市内のボランティアグループや福祉関係団体、地域住民などが交流するイベントで、年々参加者も増え、9回目となる今回は49団体の参加となりました。



作品展示や販売、おもちゃ作りの体验など多彩なコーナーが設けられ多くの参加者で賑わっていました。

また、会場内に設けられた特設ステージでは車椅子ダンスやハーモニカ演奏、マジック、コーラス、和太鼓演奏などが次々と披露され、イベントのムードを一層盛り上げていました。

前回は残念ながら降雨のため途中打ち切りで終わってしまっただけに、今は無事にエンディングを迎えた。関係者一同ほっと一息。次回は記念すべき10回目となるため、さらに盛り上げていくことを誓い合い、有意義な一日を終えました。

北摂

去る4月29日、第9

回ボランティアの集い

「みんな集まれ!!ボランティア」を茨木市ボランティア連絡会

の主催により開催しました。

このイベントは、ボランティア活動の啓発と活性化を目指すことを目的に、茨木市ボランティア連絡会加盟グループをはじめとする市内のボランティアグループや福祉関係団体、地域住民などが交流するイベントで、年々参加者も増え、9回目となる今回は49団体の参加となりました。

当日々、曇り空ながらも時折薄日のさす中、会場となった茨木市中央公園北グラウンドでは、模擬店やバザー、

「アジア太平洋障害者十年」最終年記念フォーラム ボランティア募集

「アジア太平洋障害者十年」最終年記念大阪フォーラムの開催にあたって、開催日の前後を含め、ボランティアとして運営に協力していただける方を募集しています。

活動内容

- ①空港や駅などの案内・誘導 ②移動に関する介助・添乗 ③ホテルでの介助・補助 ④語学（主に英語）、手話による案内 ⑤会議会場での案内・誘導・介助など

活動場所

空港や大阪市内、堺市内のイベント会場など

応募資格

原則として高校生以上で、会場に公共交通機関を利用して来場できる方

活動内容の決定と事前研修

事務局で調整をして、活動内容や場所などをお知らせします（8月下旬ごろ）。ボランティア研修を3日間程度、実施しますので必ず出席してください。

応募方法

応募用紙に必要事項を記入して、7月31日までに大阪府ボランティア・市民活動センターへFAX、または郵送してください。

活動日一覧

活動可能な日が複数にまたがるときは、該当するすべての番号をご記入ください。21:00～からの活動をご希望の方は、最終何時まで活動できるのかもご記入ください。

日程	時間				
	6:00~8:30	8:00~12:00	11:30~17:00	16:30~21:00	21:00~
10月18日(金)	1	2	3	4	5
10月19日(土)	6	7	8	9	10
10月20日(日)	11	12	13	14	15
10月21日(月)	16	17	18	19	20
10月22日(火)	21	22	23	24	25
10月23日(水)	26	27	28	29	30
10月24日(木)	31	32	33	34	35
10月25日(金)	36	37	38	39	40

情報コーナー

■パソコンボランティア LOVE HAND定例会

日時 7月13日 13:30~15:30 (定例日 毎月第2土曜日)

会場 大阪府ボランティア・市民活動センター

(TEL 06-6762-9631)

URL : <http://www.s-art.net/love-hand/>

E-MAIL : love-hand@s-art.net

■イベント開催のお手伝いを 日曜行事のボランティア募集

日時 9月15日 (日)

説明会を8月4日(日)に開催します。ボランティアの方も出席をお願いします。

場所 大阪国際交流センター (TEL 06-6772-5931)

近鉄上本町駅南へ300 m.

地下鉄谷町九丁目駅南東へ400 m

内容 障害のある方のサポート、会場内および場外係、受付、舞台設置係、出演者付、手作り展のお手伝い

募集対象 学生～成人（70歳位）、初心者歓迎

費用 交通費実費（食事は用意します）

問合せ 生き方宣言フェスティバルの会

事務局 八尾市西山本町6-2-16 川端

TEL/FAX 0729-99-0686

E-MAIL : tosi0164@lily.ocn.ne.jp

■ホームページを開設 みなさん見てね！

*岸和田市ボランティアセンター

<http://www.sensyu.ne.jp/kvnet/>

問合せ TEL 0724-30-3366

*池田市ボランティアセンター

<http://www.i-syakyo.or.jp>

問合せ TEL 0727-53-8858



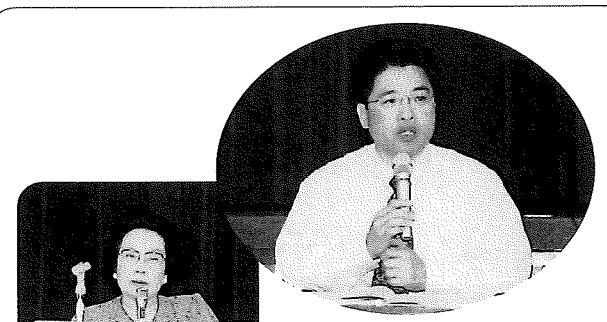
和泉ボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」 5年目を迎えた

ボランティアの活動拠点として設けられた和泉ボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」も今年で5年目を迎えることとなりました。開所当時に比べると利用者数も年々増加し、ますます活発な施設となつてきました。

その立役者として活躍しているのが26名のボランティアアドバイザーです。ローテーションを組み、毎日の受付応対をはじめ、日曜・祝日の開館も皆さまに利用していただけるよう、「アイ・あいロビー教室」です。



「アイ・あいロビー教室」は、当施設の周知とともに、ボランティア活動者の意見から開催しているもので、季節感のスキルアップをめざしたいとの意見とともに、ボランティア活動者である小物づくりやレクリエーション指導など多彩な内容となっています。



講演する辻一氏
退任の挨拶をする前会長・大杉貞子さん



5月16日、大阪社会福祉指導センター15階ホールにおいて平成14年度の大坂府市町村ボランティア連絡会総会が開催されました。新たな役員体制について提案がなされ、これについても別表のように満場一致で決定されました。憩のあとは、社団法人大阪脊髄損傷者協会会長の辻一氏の「暮らしの中のバリアフリー～誰にとっても住みよいまちづくりとは…？」と題する講演があり、約100名の参加者は熱心に耳を傾けました。

（役員）	副会長	幹事	監査役	会計	広報部会長	部会長	バリアフリー部会長
久保登美（河北B）	山田啓二（河北B）	新井千恵美（泉州B）	飯田千恵美（泉州B）	上田（北摂B）	阿曾（河南B）	近藤磯辺（河南B）	宮田（河南B）
雪枝（河北B）	幸子（河南B）	怜子（泉州B）	（北摂B）	（北摂B）	（北摂B）	（北摂B）	（北摂B）
（河北B）	（河南B）	（泉州B）	（北摂B）	（北摂B）	（北摂B）	（北摂B）	（北摂B）
○は新役員							



当日出席された新役員の皆さん

市町村ボラ連の総会を開催



河南

家庭的なムードで 柏原市ボラ連 第3回ボランティア展

9月8日、久し振りに柏原市健康福祉センター「オアシス」を訪問しました。途中、オカダ通りで雨やどりをしたため畠山会長の挨拶には遅れましたが、河野守道さんの講演には間に合いました。

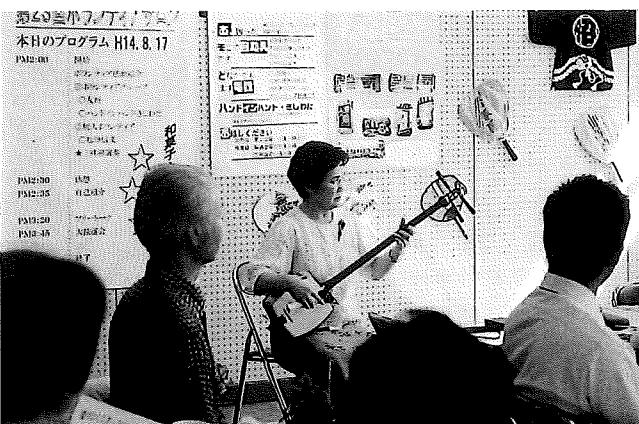
河野さんは奈良市にお住まいですが、夫人が柏原市の小学校長などを務めておられることから、ご登場を願つたそうです。ご本人は奈良県トライアスロン協会やウルトラマラソン協会の会長さんでもありながら、退職後に取得された造園関係の資格を活かして国際協力事業団（JICA）のシニアボランティアのいろはを学びました。

講演の後、朝から展開されている各グループの展示ブースを回りました。これまでとは違うという感じを受けたのは手芸活動の多様化です。以前よりも参加グループや種目が増え、この勢いなら、施設などへのサービスも充実するのでは感じました。介護用品コーナーで、車椅子の来場者の注文に合うように作品の補正をされている様子も印象的でした。ホールの舞台では手話劇や人形劇、大型紙芝居・大正琴などの発表が続けられ、多彩な福祉ボランティア活動が家庭的な雰囲気のなかで、華やかに演出されていました。

（広報部会河南ブロック担当 宮田信直）

泉州

ボランティア活動の発展と充実を図って 「ボランティアサロン」を開催



岸和田市ボランティアセンターでは、ボランティアサロンを開催しています。この8月は、岸和田祭りの雰囲気で設営し会場を盛り上げ、ボランティアグループ・個人のボランティア活動紹介、休憩を挟んで（この間、ボランティアグループによるコーヒー、手作り和菓子の販売）個人の趣味を活かした三昧線の演奏で和気藹々に。

残りの時間は、各テーブルで実行委員会を開催しています。企画、運営、司会進行など、すべてを担っています。

この8月は、岸和田祭りの雰囲気で設営し会場を盛り上げ、ボランティアグループ・個人のボランティア活動紹介、休憩を挟んで（この間、ボランティアグループによるコーヒー、手作り和菓子の販売）個人の趣味を活かした三昧線の演奏で和気藹々に。

実行委員会を設け、企画、運営、司会進行など、すべてを担っています。

この8月は、岸和田祭りの雰囲気で設営し会場を盛り上げ、ボランティアグループ・個人のボランティア活動紹介、休憩を挟んで（この間、ボランティアグループによるコーヒー、手作り和菓子の販売）個人の趣味を活かした三昧線の演奏で和気藹々に。

残りの時間は、各テーブルで実行委員会を開催しています。企画、運営、司会進行など、すべてを担っています。

この8月は、岸和田祭りの雰囲気で設

営し会場を盛り上げ、ボランティア

グループ・個人のボランティア活動紹介、休憩を挟んで（この間、ボランティアグループによるコーヒー、手作り和菓子の販売）個人の趣味を活かした三昧線の演奏で和気藹々に。

実行委員会を開催しています。

この8月は、岸和田祭

Hello! ボランティアセンター

登録ボランティアグループのリーダー会
岬町社会福祉協議会ボランティアセンター
泉南郡岬町深日3238-24
TEL 0724-92-5700
FAX 0724-92-5701

「個人登録」をベースにした全町的な活動

大阪府の最南端に位置する岬町は、人口約2万人の海と緑の町。南海電車の特急が停まる「みさき公園」駅から多奈川線に乗り換え、二つ目の「深日港」駅からすぐのところに岬町ボランティアセンターはあります。

「当ボランティアセンターの特徴は、主として個人登録を基本にしていることです。現在、約300人の皆さんがボランティア登録をされていますが、そのことで、居住する地域や、所属する団体の枠を越えて活発に活動していただいている」と社会福祉協議会の副会長であり、ボランティアセンターの運営委員長でもある藤原法子さんは語ります。

個人登録した皆さんは、社協がコーディネートする18のカテゴリーに分かれて活動。特養や障害者施設など3つの福祉施設と、小地域ネット、いきいきサロンの活動や、移送・リサイクル・広報・給食、在宅サービス…といった分野別活動に分かれますが、「ほとんどの方が3~4つ掛け持ちでやっておられます。そのことで活動場所、活動分野ごとの連携も図れ、岬町の地域性を活かしたコーディネートに重点を置くことでボランティア活動全体の活性化につながっていると思います」とも藤原さん。また、ユニークなところでは「理髪ボランティア」「代筆ボランティア」といった活動もあり、前者はプロの理髪士さんの協力で行われているそうです。

さて、取材の日は毎年恒例のボランティアスクールが開かれていました。今年度は昨年度に引き続き「精神保健福祉ボランティア」をテーマとしたスキルアップ講座。約80名の参加者は当事者の方の報告をはじめ、講師の話に熱心に耳を傾けていました。「まだまだ新人ですが、皆さんに助けられながら岬町のボランティア活動の一層の活性化に取り組んでいきたい」と語るのは、コーディネーターになって一年半の宮本弘子さん。そして「今後は、岬町ボランティアセンターとして広域的な視野を持った扱い手を創造し、ボランティア活動の拠点づくりなどにも積極的に取り組んでいく予定です」と藤原さんと宮本さん。

潮の香りと故郷の匂いが漂う町の、素敵なボランティアセンターです。



運営委員長の藤原法子さん
(右)とコーディネーターの宮本弘子さん

昨年7月、商店街のなかに新規オープン

昨年7月、新しい場所に新規オープンした豊中市ボランティア活動推進センター。その後、市民からの公募で『ぶらっと』と愛称も決まり、エンジンはいよいよフルスロットル！です。



若い人も気軽にに入る『ぶらっと』

「ここの強みは、なんと言っても抜群のロケーション。阪急岡町駅から豊中市役所に至る商店街の中にあり、前面ガラス張りの明るく開放的な雰囲気で市民の皆さんに気軽に立ち寄っていただいている。以前の相談件数は年間約1,000件でしたが、ここに移ってから毎月の相談件数は約400件に急増。ボランティア団体連絡会の協力で『ボランティアはじめ専科』というプログラムも始まり、みんなで嬉しい悲鳴をあげています」と勝部さんらコーディネーターの3人は口を揃えます。

『ぶらっと』の愛称には「ぶらっと気軽に立ち寄れる場所」「プラットホームのように人や情報が行き交う場所」という意味が込められていますが、市内のボランティアグループが交替で当番にあたりアドバイザー役を担っています。

豊中と言えば「企業・団体のボランティアネットワークとよなか」の活動でも知られていますが、開設時には備品・図書等の寄付が企業や市民から多く寄せられたとか。また「市社協ボランティア団体連絡会」の45加盟団体と協働で実施したヒューマンカーニバルでのバザーの収益が『ぶらっと』の運営費にあてられるなど、まさに市民参加の開かれたボランティアセンターと言えそうです。

取材の日も、登録ボランティアグループのリーダー会が開かれており、活発なミーティングが行われていました。

『ぶらっと』のオープンで、多くの世代による多彩な分野での活動、プログラムのさらなる充実が期待されます。さまざまな意味で「盗むべきもの」がいっぱいのボランティアセンターと言えそうです。



11月に開かれたボランティアスクール

V サイン
ボランティア

～大阪府市町村ボランティア連絡会(ボラ連)Vサイン～

べるとながなか壮観で、出席者の皆さんに試食をしてもらいました。会場の生花なども、会員が朝早く摘んできたものが飾られ、河内長野らしい風情が出ていました。

午後は情報交換です。5年前にも行



泉州

11月23日（祝）、和泉市ボランティア「アイ・ロビー」にて開催されました。

ステージでは、和泉市社会協会長辻村氏のご挨拶と和泉市長稻田氏の祝辞の後、登録ボランティアグループの皆様によるそれぞれの活動発表が次々と披

露され、大いに会場のムードが盛り上がりました。「アイ・ロビー」内

好のイベント日和となり1,200人の来場者で賑わいました。

今年は、「あなたもちょボラ！」わたくしもちょボラ！ いつのまにか大きくなってしまった。『ちょボラとはちょっとボランティアの意味です』というテーマに沿って、6つのコーナー（出会いステー

ル通路、たすけあい広場、ふれあい広場、フリー・マーケット）から構成されました。

和泉ボランティアフェスティバル2002が開催されました。今年も絶好のイベント日和となり1,200人の来場者で賑わいました。

今年は、「あなたもちょボラ！」わたくしもちょボラ！ いつのまにか大きくなってしまった。『ちょボラとはちょっとボランティアの意味です』というテーマに沿って、6つのコーナー（出会いステー

ル通路、たすけあい広場、ふれあい広場、フリー・マーケット）から構成されました。

